

帯広市



「地元でしかできない色」を提供します

「わが村は美しくー北海道」運動第11回コンクール応募団体

合同会社ノーサム

【帯広市】

地域の資源を活用する染色洋服ブランドを通じて十勝に新たな色をつける

【はじまりは？】

本別町の農家の方から、「収穫した玉ねぎから大量の外皮が廃棄されている」という話を聞き、「何かに再利用できないか？」との思いから、阿寒湖の温泉水を活用したアイヌの伝統的な手法を用いて、玉ねぎの外皮から抽出した染料で染色する服飾ブランド「野染 (nosome)」を立ち上げることになりました。

現在では、玉ねぎの外皮以外にも「本別アオダモ材の外皮」、「池田ワイナリーのぶどう」、「芽室ピーナッツの殻」などでも染色しています。

【おもな活動】

廃棄される農作物などから草木染めした洋服の販売以外にも、地域づくりに着目した活動を展開しています。

- ・店舗、ネット販売のほか、本別町ふるさと納税返礼品として採用
- ・地域住民を対象とした染め物体験の開催
- ・服飾関係の大学を対象に「地域資源を活用した地域づくり活動」を題材とした講演活動の実施



染め物体験の様子

【ここが自慢】

【この服にはストーリーがあります】

「捨てられるものでしか染めない」「全て手作業」というルールをブランドに課しています。

玉ねぎの収穫スケジュールに合わせて製品を作るといったように、農業や産業に密着しているため、「地域の色」が製品となっています。

また、阿寒湖温泉から始まり、玉ねぎの外皮の提供を受けている本別町、製造拠点の帯広市といった旅のストーリーやアイヌ文化も製品に込められています。



アイヌ伝統的な手法により染められた商品

連絡先

代表者名：円城寺 篤さん／設立：2021年／会員：3名

住所：北海道帯広市大通り南11丁目20-5

電話番号：

F A X：

E-mail：no.some.local@gmail.com

URL：https://www.nosome.jp/